



生涯学習の支援や情報センターとして、その中心を担う施設です。気軽に利用でき開放的で暖かい雰囲気にするため、書架や床をはじめ館内の隅々まで材質や形状、高さ、色まで気を配りました。特に書架とテーブルについては、スチールなどは一切使用しないで、自然木のぬくもりを取り入れ、スッキリしたデザインの中にも本が主役となる、平場モデルを採用しました。配架についても、誘い込むようなやさしい配置としました。また、床は段差をなくし、書架やテーブルなどの角も丸みを持たせ、人にやさしい配慮をしています。

※平場モデル：考案者である平場文夫氏と（株）小島工作所との共同作品です。

図書館 ほっとするね、窓辺に光わたしの図書館



カウンター

貸出や返却ができます。本を探したいなどのご相談もこちらで受付けています。



雑誌・新聞コーナー

最新の情報が掲載され、気軽に読める雑誌や新聞・パンフレットなどを用意しています。ソファでくつろぎながら利用できます。



子どもコーナー

子どもがわくわくするような絵本や児童文学の本、子どもが調べ学習をするテーブルがあります。子どもが自分で本を選べるように低い書架になっています。



おはなしの部屋

おはなしや紙芝居ができるお部屋です。にわたりの形をしたテーブルで親子ゆっくり本を読んだり、紙芝居や親子閲覧コーナーとしても利用できます。



ティーンズルーム

西側の明るいところに10代の子どもの部屋を設け、彼らの関心が高いもの、人生の参考となるものを中心に資料を揃えています。



ビデオ鑑賞コーナー

3人席が2台あります。



郷土の人びと資料展示コーナー

郷土が誇る世界的経済学者であり、文学者でもあった高田保馬博士の資料と、日本近代書道の基礎を築いた、書聖中林梧竹翁の遺品や資料があります。



和室コーナー

くつろぎながら読書ができるように窓際は堀り炬燵式の床になっています。囲碁や将棋をすることもできます。



美術写真コーナー

西側の明るくモダンな雰囲気のコーナーに画集・写真集などビジュアルな本を揃えています。



文庫新書コーナー

公園が一望できる南側の明るいところに文庫新書があります。アンティークな雰囲気の椅子とテーブルでゆったりと過ごすことができます。